

東京メトロのご案内がよりスマートに！

「iPad」を活用したご案内サービスの拡大

《サービスマネージャー配置駅の全てで本格導入！ 8月22日（月）から》

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、平成22年12月1日（水）から銀座駅と表参道駅の2駅で「サービスマネージャー」によるお客様へのご案内サービスに「iPad」を試験的に導入してきましたが、好評のため、平成23年8月22日（月）から、他のサービスマネージャー配置駅12駅（上野駅、日本橋駅、新橋駅、九段下駅、日比谷駅、有楽町駅、六本木駅、新宿駅、池袋駅、大手町駅、東京駅、飯田橋駅）に「iPad」を活用したご案内サービスを拡大いたします。

これまで「iPad」を試験導入した2駅では、1日のご案内のうち、約半数で「iPad」を活用したご案内を行っています。主なご案内は、「画面拡大機能を活用した路線図や周辺地図、駅構内図のご案内」や「東京メトロ各路線の直近の運行状況のご案内」などとなっています。

お客様からは、「文字が大きく見えて路線図などが分かりやすい」「目的地に向かう列車の運行状況が分かるのでとても助かる」などと好評を得ています。さらに、「iPad」を取り扱うサービスマネージャーからも実感として「お客様からとても喜んでいただき、ご案内の幅が広がった。」との意見が多く、「iPad」導入の成果を確認できました。

これらの結果から、「iPad」を活用したお客様へのご案内を全てのサービスマネージャー配置駅で本格導入し、よりスマートに、より充実したご案内を行ってまいります。



「iPad」を使用したご案内
・「iPad」は Apple Inc. の登録商標です。

「サービスマネージャー」とは

高齢のお客様や地下鉄に不慣れなお客様に安心してご利用いただけるよう、平成16年4月から開始した東京メトロのご案内サービスです。

日中の時間帯（10:00～17:00）に、お客様のご利用の特に多い14駅で、改札口、きっぷうりばの近辺を中心に、駅構内を移動しながらお客様のご案内に努めています。

「iPad」を活用したサービス事例」

- ・路線図による行き先のご案内
- ・地図の拡大・縮小による駅周辺のご案内
- ・東京メトロ各路線の直近の運行状況のご案内
- ・東京メトロアプリ、メトロタッチなどのアプリを活用したご案内
- ・外国語通訳サービス（英語・中国語・韓国語）